

はない。ただ人体の固い部分に当てたとき、たとえば顔面への肘打ちとか、蹴り技に対して肘を蹴り足のすねにぶつけるようにしてブロックするような場合、正拳より肘の方が丈夫なので、大きな圧力に耐えることができ有利である。

前蹴りと回し蹴りを比べると、K五段以外の三人は前蹴りの方が衝撃力が大きい。一般に、前蹴りより回し蹴りの方が威力があるとされているが、衝撃力に関する限り前蹴りが強いという結果になった。これもストリートとフックの威力を比較する問題と同じで、技の威力は衝撃力だけでなく当たる角度や受けにくさにもよることを示している、と考えてよい。

横蹴りは前述のように「突き型」の技なので体重が乗せやすく（胴体の運動量を的に伝えやす）、衝撃力は三種類の蹴り技の中で最も大きい。特にK五段の横蹴りの全力積 S_1 は七・四四kgw.と非常に大きい。これは胴体の運動量が力積に変わった割り合いが大きいためである(図7)。蹴り技の衝撃力を総合的に見ると、前述の学生の有段者の場合と同じことが言える。すなわち、少林寺拳法の蹴りの衝撃力は突きと同程度かやや強い程度である。すぐこの後に出てくるが、この傾向は他の格闘技にも共通である。空手のように蹴りが突きよりはつきりと強い方がむしろ特殊と言えるかもしれない。

⑬ 空手、キック、日拳、中国拳法が競い合う

四格闘技学生一流選手の衝撃力を比較する

すでに述べたが、異なる格闘技を比較する場合、だれを代表とするかがいつも問題になる。一流の選手を大勢集め、平均値で比較できれば理想的なのだが、現実的に困難である。そこでこの実験では、次の条件で四格闘技の被験者を選んだ。

- (1) 大学生（卒業直後を含む）であること
- (2) 学生として一流選手であること

この二つの条件があれば、年齢、修行年数、修行環境、素質の差が小さくなると考えられる。実験に応じてくれた被験者は表10のような人たちである。

この実験において測定器の打撃部は後ろのコンクリート壁にほぼ完全に密着させ、たわまないよう工夫した。これに関して別の章で述べたが、ブロックを割るのに約1000kgwの力（衝

【表10】 四格闘技学生一流選手の特徴

種目 (被験者)	身長 (cm)	体重 (kg)	年齢 (歳)	経験 年数	備考 (実験当時)
空手 (S)	178	95	21	10	拓殖大学 空手部主将
日本拳法 (K)	169	65	21	7	中央大学 日本拳法部主将
中国拳法 (M)	170	64	23	5	元・明治大学 中国武術研究会主将
キックボク シング(O)	184	75	22	5	元・日本大学キック・ ボクシング部主将